

第 59 回長野県老人クラブ大会 会長あいさつ

本日、ここ上田市において県下各地から大勢の皆様にお集まりいただき、「第 59 回長野県老人クラブ大会」が開催できましたことに対し、まずもって感謝申し上げます。

また、来賓の皆様には、大変お忙しい中、ご臨席をいただきありがとうございます。厚く感謝申し上げます。

さて、長野県の人口の約 3 割が、高齢者となり、人生 100 年時代を迎えようとしている今日、高齢者が健康で仲間と支え合いながら地域づくりを進めていくことが求められております。こうした活動を半世紀以上にわたり推進してきたのが、私たち老人クラブの存在であります。

ご案内のとおり、長野県老人クラブ連合会は、全国に先駆け、昭和 35 年に設立されて以来、高齢者の生きがいと健康づくり、住みよい地域づくりを実現するため、「健康、友愛、奉仕」の全国三大運動をはじめ幅広い地域活動に取り組んでまいりました。

長年にわたり先人たちが築いてきた活動は、各地域で多大な成果を上げ、地域に根付いた活動として今日まで受け継がれております。

今後、介護保険法の改正により、地域の実情に応じて高齢者が可能な限り住みよい、住み慣れた地域で自立して生活することが求められており、老人クラブに対する期待は、ますます大きくなってきております。

私は、こうした高齢者や地域の期待に十分応えていくために、現在の老人クラブが抱えている大きな課題を、まず解決していかなければならないと思っています。

その大きな課題とは、私たちの仲間である会員数の減少です。

会員数の減少は長野県だけではなく全国老人クラブの共通の課題であり、全国老人クラブ連合会では、会員数を増加するために、平成 26 年度から「全国 100 万人会員増強運動」を実施し、長野県では 5 年間で 2 万人会員を増強すべく進めているところです。

新たな仲間呼び掛け、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりを県下の各連合会で実施しています。それには老人クラブが、地域のニーズに的確に対応できる組織でなければならず、半世紀以上にわたり先人たちが築いてきた、もろもろの活動をさらに前進させたいものです。

私たち一人ひとりが、老人クラブ活動に自信と誇りを持ち、仲間づくりの輪を広げ、高齢者や地域の期待に十分応えていきたいものと思います。

本日は、長年にわたり老人クラブの育成・発展にご協力、ご尽力いただきました皆様を表彰申し上げ、「私の主張」では、佐久市在住の依田よし子さんから「道ひとすじに」と題しまして発表いただきます。

そして、東京農業大学大学院環境共生学専攻 教授 上岡洋晴先生から「転倒を予防して いきいき毎日～いつまでも好きなことができますように！～」と題してご講演をいただきます。

どうぞ有意義な日にしていただきたいと思います。

終わりに、本日受賞されました皆様方に対し、心からお祝い申し上げます、今後のさらなる活躍を祈念するとともに、本大会の開催地として、受入れ等の準備にご協力いただきました、上田市高齢者クラブ連合会と関係の皆様方に厚く感謝申し上げます、あいさつといたします。

平成 30 年 10 月 11 日

一般財団法人長野県老人クラブ連合会 会長 池上弘祥